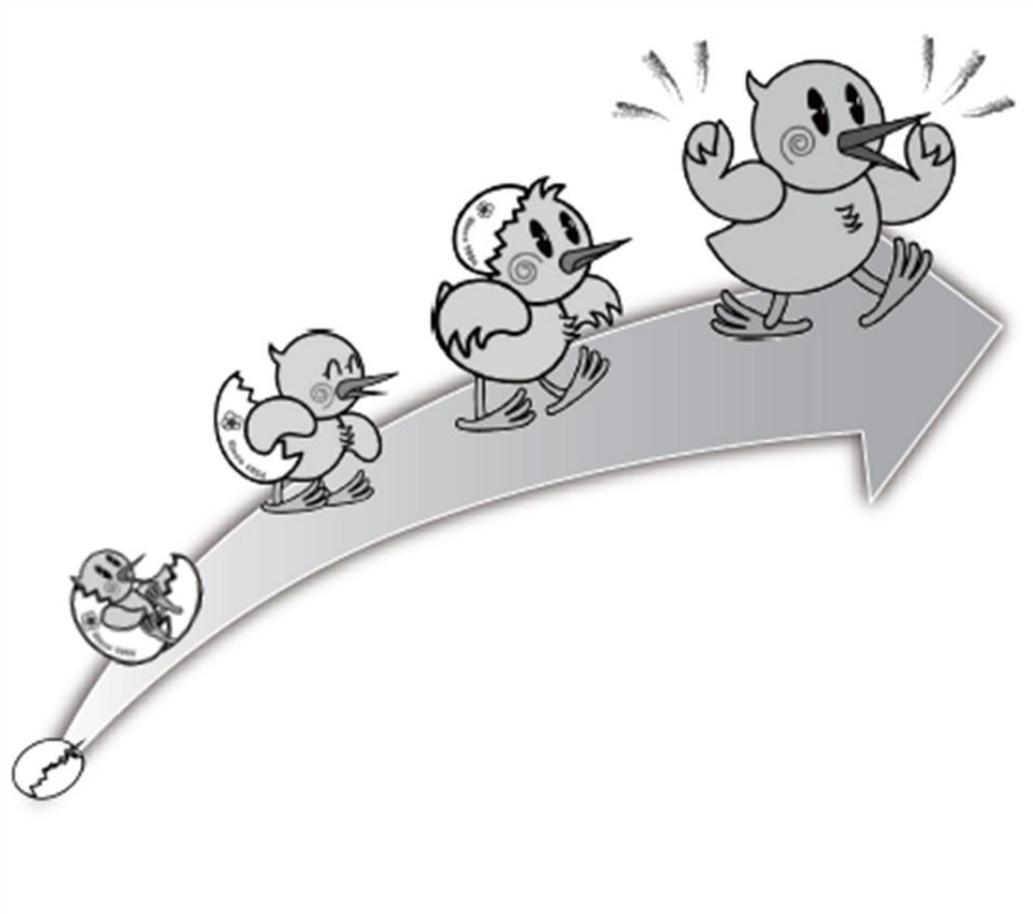


令和8年度 実施計画

計画期間 〈令和8年度～令和10年度〉



— 目 次 —

第1章 実施計画の概要

1 計画の趣旨	1
2 計画の期間	1
3 計画の基本方針	2
4 計画の範囲	2
5 実施計画事業の選定基準	3

第2章 財政計画

1 計画期間内の財政見通し	3
(1)歳入見通し	3
(2)歳出見通し	4
2 市の財政フレーム	4

第3章 分野別計画

・ 令和8年度 実施計画対象事業一覧表	5～6
・ 実施計画書(ソフト事業一覧)	7～20
・ 実施計画書(ハード事業一覧)	21～29
・ 参考(国民健康保険事業特別会計、水道・下水道企業会計事業一覧)	30～34

第1章 実施計画の概要

1 計画の趣旨

第6次鴻巣市総合振興計画の基本計画で定められた施策をどのように実施していくかを具体的に示す「実施計画」は、新年度を含めた向こう3か年間の重要事業の推進の方向性を示すことを目的に、毎年度、予算が確定する3月末に策定しているものです。

この計画は、次年度以降の予算編成及び事業実施の指針となるばかりでなく、市が取り組んでいる重要事業の内容を市民の皆様にご覧いただくという役割も担っています。

このたび公表する実施計画に掲載した事業に関しては、今後、①事業担当部課による事業内容や事業費の精査、②それに基づく予算の概算要求、③市長の予算査定、④市議会における審議等、様々な過程を経てその予算化・事業化を目指していくこととなります。

なお、これらの予算化・事業化を目指す一連の作業のなかで、事業費の拡大・縮小、事業の取り止め・延伸・前倒し等、事業実施上、変更する場合があります。

平成 29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)	9年度 (2027)	10年度 (2028)
基本構想										次期	
前期基本計画				後期基本計画						次期	
			実施計画								
				実施計画							
	毎年度3か年 ローリング方式※				実施計画						
						実施計画					
							実施計画				
								実施計画			

※ローリング方式

総合振興計画など、長期の事業計画の実施過程で計画と実績を毎年チェックし、計画的な目標達成を図る方式。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和10年度までの3か年とします。

今回の実施計画は、第6次鴻巣市総合振興計画における第10期目の実施計画となります。

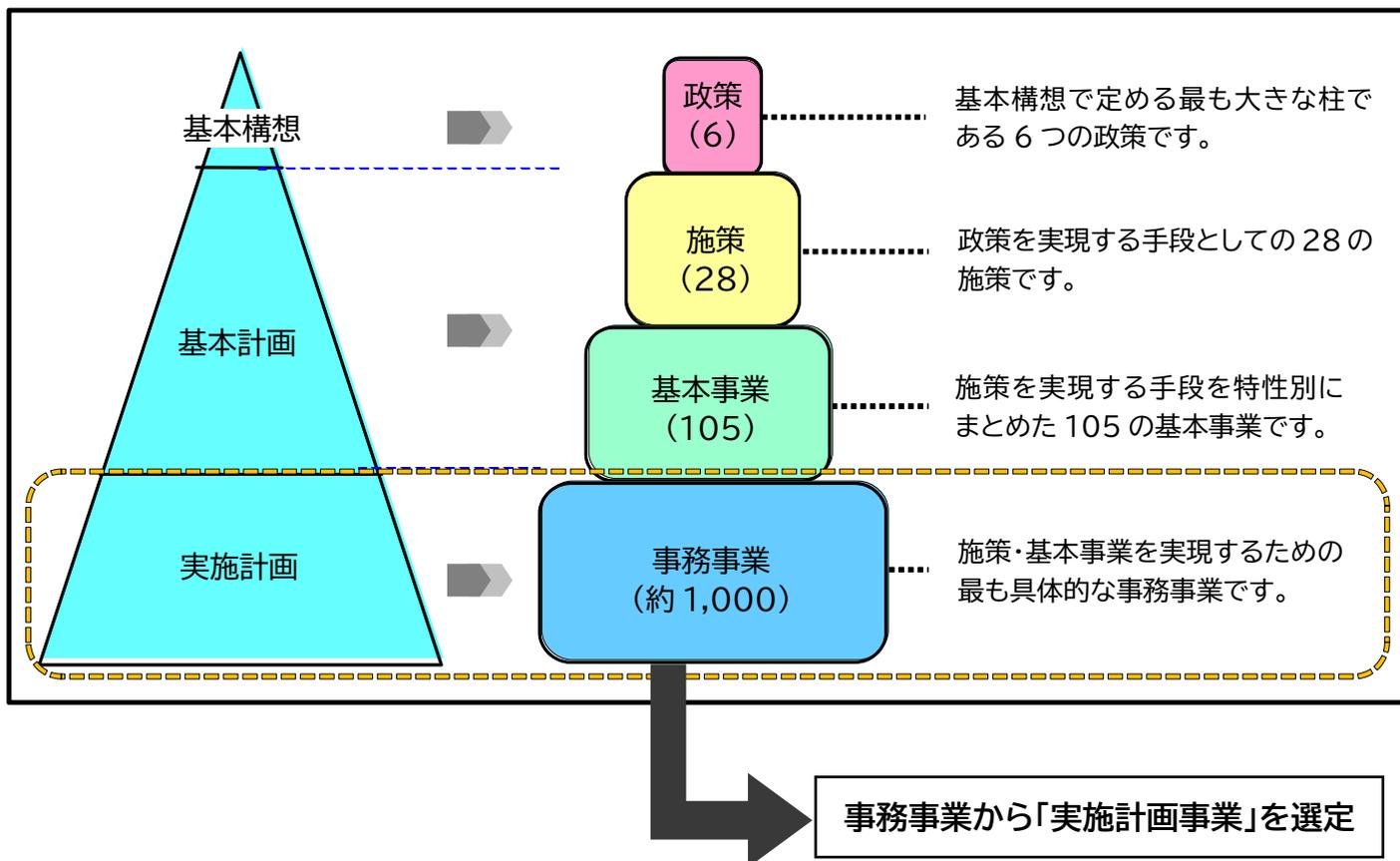
3 計画の基本方針

本計画に掲げられた事業を進めるにあたっては、財源の確保に最大限努めるとともに、行政評価の考え方にに基づき、効果的・効率的に事業を進めます。

また、それぞれの事業の実施にあたっては、次の基本構想に定める「6つの政策展開の方向」のもと取り組みます。

- | | |
|--|---|
| <p>◆政策1 子育て・教育・文化に関する政策
～未来をひらく人材を育て、
確かな学びと文化が根付くまちづくり～</p> | <p>◆政策4 都市基盤に関する政策
～都市機能と豊かな自然が調和した
住みよい快適なまちづくり～</p> |
| <p>◆政策2 保健・福祉・医療に関する政策
～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～</p> | <p>◆政策5 産業に関する政策
～にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり～</p> |
| <p>◆政策3 安全・安心に関する政策
～安全・安心に暮らせるまちづくり～</p> | <p>◆政策6 市民協働・行政運営に関する政策
～市民協働による一人一人が主役のまちづくり～</p> |

4 計画の範囲



5 実施計画事業の選定基準

実施計画事業は、向こう 3 か年を計画期間として毎年ローリングします。

今年度の対象事業については、下記の基準によって選定しています

(※ 対象事業は第 3 章一覧表のとおり)。

- 1 施策の成果に対し、貢献度が大きい事業
- 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略、国土強靱化地域計画及び SDGs未来都市計画と連携する基本事業に位置付けられる事務事業のうち、特に重要性の高い事業
- 3 複数年にわたり多額の事業費を必要とし、終期設定がある事業
- 4 制度改正等により事業費が大きく変動する事業
- 5 上記以外の事業で実施計画に位置づける必要がある事業

第 2 章 財政計画

1 計画期間内の財政見通し

我が国の経済情勢は、官民連携した賃上げを始めとする所得環境の改善や企業の設備投資意欲の後押しなどが相まって、民間需要主導の経済成長が実現し、緩やかな回復が続くことが期待されます。

しかしながら、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向などの景気を下押しするリスクとなっており、また、金融資本市場の変動の影響等に十分留意する必要があります。

本市においても、依然として厳しい財政状況が続いておりますが、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済への移行に向け、緩やかな回復が継続することが想定されます。一方、投資的経費である普通建設事業費の増加や社会保障施策に要する経費である扶助費の恒常的な増加に加え、エネルギー・物価高騰の長期化による各種経費の増加が市の財政を圧迫しており、国庫支出金等の積極的な活用と自主財源の確保に取り組むことが、より一層重要な課題となっております。

また、「市民と歩む新しい鴻巣」を基本姿勢として、誰も取り残さず、未来へ羽ばたくまちづくりに向け、こども・子育て支援、教育環境の整備、福祉施策の充実、都市基盤の整備や交通の利便性向上、防災・減災対策、全市的な SDGs の推進などの事業に注力してまいります。

これらのことから、一般会計の予算規模は令和 8 年度の約 470 億円から数十億規模で増加すること予想されます。

(1) 歳入見通し

ア 市税は、令和 8 年度は、軽自動車税の環境性能割が廃止されるため減少が見込まれますが、加熱式たばこの課税方式の見直しや個人市民税における納税義務者の所得額増加などによりプラスで推移すると推計しました。

イ 地方交付税は、社会保障関係費や人件費の増加が見込まれる中、行政サービスを安定的に提供しつつ、様々な重要課題に取り組めるよう令和 7 年度を上回る額を確保する方針が地方財政対策で示されたことを勘案し、推計しました。

ウ 国・県支出金については、医療や介護、子育て支援などに係る給付費の増加、選挙費用の増加等を見込み推計しました。

(2) 歳出見通し

- ア 人件費は、職員の新規採用と退職者数の増減や定年延長を考慮し、720人程度となることを見込み推計しました。
- イ 扶助費は、高齢化の進行や子育て支援の充実、過去の決算の推移をもとに推計しました。
- ウ 公債費は、過去に発行した地方債の元利償還金を見込み推計しました。
- エ 繰出金は、各会計の自助努力での運営を前提とし、高齢化の進行に伴う福祉・医療関連の繰出しや、北新宿第二土地区画整理事業の計画的な進捗を図るための繰出しを見込み推計しました。
- オ 投資的経費は、本実施計画に位置付けられた普通建設事業の取り組みなどを見込み推計しました。

2 市の財政フレーム

《歳入》

単位:百万円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
市 税	16,429	16,576	16,752
地 方 交 付 税	8,085	8,085	8,085
譲与税・交付金等	3,871	3,960	4,052
国 県 支 出 金	12,248	13,474	13,090
繰 入 金	1,896	2,580	1,603
市 債	2,244	5,575	1,848
そ の 他	2,456	2,578	2,548
歳 入 合 計	47,229	52,828	47,978

《歳出》

単位:百万円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
人 件 費	7,453	7,351	7,515
扶 助 費	12,781	13,778	14,853
公 債 費	4,077	3,919	3,716
補 助 費 等	5,714	5,618	5,606
繰 出 金	4,449	4,432	4,536
投 資 的 経 費	3,343	8,951	2,988
そ の 他	9,412	8,779	8,764
歳 出 合 計	47,229	52,828	47,978

※この表は、令和8年3月の推定値であり、今後経済・財政状況等で、大きく変動する場合があります。
※また、令和9年度以降の数値については、年度ごとに改めて精査されます。

第3章 分野別計画

令和8年度 実施計画対象事業一覧表

(※事業費は百万円未満を切り上げています。)

【ソフト事業】

(単位:百万円)

詳細ページ番号	総合戦略	強靱化	SDGs	政策体系			事業名	令和8年度	令和9年度	令和10年度
				政策	施策	基本事業				
8	○		○	1	1	99	こどもまんなか推進事業	1	2	2
7	○			1	1	2	地域子育て支援事業	54	56	76
7	○			1	1	2	こども家庭センター事業	30	30	30
8	○	○	○	1	2	4	小学校教育 ICT 環境整備事業	689	230	230
9	○	○	○	1	2	4	中学校教育 ICT 環境整備事業	341	122	122
9	○			1	2	5	小・中学校適正規模及び適正配置事業	1	2	1
10	○	○		1	3	2	放課後児童クラブ管理運営事業	646	597	582
10	○	○		1	3	2	こどもの居場所支援事業	7	7	8
11	○	○	○	2	1	5	予防接種事業	464	464	464
11			○	2	2	3	重層的支援体制整備事業	18	18	18
12				2	3	2	要援護高齢者等支援事業	16	17	19
13		○		3	1	3	災害支援体制整備事業	17	18	18
13				3	2	2	防犯灯管理事業	70	70	70
14	○	○	○	3	3	5	エコな住環境づくり事業	4	4	4
15	○		○	4	4	1	公共交通維持事業	156	200	201
15	○		○	4	4	1	デマンド交通運行事業	114	114	115
16			○	4	5	3	コウノトリ飼育施設管理運営事業	29	29	29
17	○	○		5	1	1	商工会補助事業	43	43	43
18	○	○		6	4	3	公共施設等マネジメント事業	1	2	1
18	○	○		6	4	3	包括施設管理業務事業	519	651	659
19		○		6	4	4	情報系システム事業	111	105	105
19				6	4	4	コンビニ交付事業	14	14	14
20	○			6	4	5	DX推進事業	2	2	2
20	○		○	6	4	99	SDGs推進事業	10	6	6
合 計								3,357	2,803	2,819

【ハード事業】

(単位:百万円)

詳細ページ番号	総合戦略	強靱化	SDGs	政策体系			事業名	令和8年度	令和9年度	令和10年度
				政策	施策	基本事業				
21	○	○		1	1	1	吹上地域保育園等新設整備事業	749	1,710	6
21		○		1	2	4	小学校施設改修事業	47	828	601
22		○		1	2	4	中学校施設改修事業	29	669	922
22	○			1	2	5	(仮称)川里義務教育学校整備事業	15	70	20
23		○		3	1	5	消防ポンプ自動車更新事業	23	26	26
23				3	2	1	交通安全施設整備事業	24	26	26
24			○	3	3	3	新たなごみ処理施設周辺整備事業	19	0	0
25	○	○		4	1	3	北新宿第二土地区画整理事業特別会計繰出金	317	350	350
25		○		4	2	2	荒川左岸通線整備事業	38	20	20
26		○	○	4	2	2	駅南通線整備事業	26	50	50
26		○	○	4	2	2	三谷橋大間線(3期工事)整備事業	220	250	250
27		○		4	2	2	幹線道路等整備事業	67	150	150
27		○	○	4	2	2	上尾道路接続市道整備事業	32	27	66
28		○		4	4	2	鴻巣駅東口エレベーター整備事業	14	226	0
29	○	○	○	5	2	3	道の駅整備事業	1,283	3,957	73
合 計								2,903	8,359	2,560

<参考> 国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計、水道・下水道企業会計

(単位:百万円)

詳細ページ番号	総合戦略	強靱化	SDGs	政策体系			事業名	令和8年度	令和9年度	令和10年度
				政策	施策	基本事業				
30				2	1	6	保健衛生普及事業	45	45	45
30				2	1	6	特定健康診査等事業	117	117	117
31				2	3	4	高齢者あんしんみまもりサービス事業	12	14	16
32		○		3	5	1	配水管等布設事業	526	526	526
32				3	5	1	テレメータ更新工事	262	196	196
33		○		3	6	1	汚水管渠整備事業	139	100	109
33				3	6	99	ウォーターPPP導入事業	47	20	4
34				4	3	2	大間2号調整池整備事業	7	89	30
合 計								1,155	1,107	1,043

地域子育て支援事業

1182

施策体系	01-01-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)こども応援課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
未就学児とその保護者	<p>【事業概要】</p> <p>実施日 子育て支援センター(生出塚保育所内) 毎週月～金曜日 川里ひまわり保育園子育て支援センター 毎週月～日曜日 子育てサロン6施設 週3日</p> <p>事業内容 自由遊び、製作、給食体験、身体測定などを実施。また、子育て支援センター以外の場所に出向く出張ひろばを実施。</p> <p>【今後の方向性】 出張ひろばの拡充や子育て支援センターの機能充実を図る。</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
乳幼児を持つ保護者の孤立感を解消する。 乳幼児を持つ保護者の育児不安を解消する。 乳幼児・保護者の同士の交流が図られる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	開設日数(日)	150	340	340	340
活動	開設施設数(箇所)	6	9	9	10
成果	参加者数(延べ)(人)	25,000	40,000	41,000	45,000
成果					
事業費(千円)		12,876	53,782	55,090	75,120
うち一般財源(千円)		4,294	17,898	18,334	25,000
備考					

こども家庭センター事業

1501

施策体系	01-01-02	会計区分	一般会計	計画年度	平成29年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)子育て支援課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
妊産婦と子ども、その家庭	<p>【事業概要】</p> <p>こども家庭センター(R6.4月設置)で、妊産婦及び乳幼児の健康維持・増進に関する包括的支援等を切れ目なく対応する。</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦全体はもちろん、手厚い支援の必要な特定妊婦への伴走型相談支援の充実に努める。 ・合同ケース会議で、支援計画について専門職間の情報共有を行う。 ・ヤングケアラー支援体制等の整備(高校生年代を対象にアンケート実施、関係機関との連携体制構築等)
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
妊娠期から子育て期にわたるまでの育児不安を軽減し、安心・安全に過ごしていける。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	こども家庭センタ-での母子健康手帳交付数(件)	670	654	654	654
活動	母子健康手帳交付数における特定妊婦の割合(%)	25.5	26	26	26
成果	合同ケース会議における取扱件数(件)	55	60	60	60
成果	支援計画(特定妊婦)作成率(%)	100	100	100	100
事業費(千円)		26,447	29,405	29,405	29,405
うち一般財源(千円)		11,061	9,908	9,908	9,908
備考					

こどもまんなか推進事業

367

施策体系	01-01-99	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)こども応援課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鴻巣市こども計画（R7～R11）の進行管理 / こどもまんなか会議の運営 ○「鴻巣市こどもの権利条例」の周知・啓発 ・小中学校や職員出前講座を通じたこどもの権利の周知 ・条例に定める「意見の表明及び参加する権利」を保障するための「こどものいけんばこ」の設置・運営 ○「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組の実施 ・夏休みの期間のフラワー号の小・中学生運賃無料化等 <p>【今後の方向性】</p> <p>こどもの意見を反映した施策の実現に向けた取組を進める。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
こどもたちが健やかに成長し、自己が尊重される「こどもまんなか社会」の実現がなされている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	当該年度に「こどものいけんばこ」に寄せられた意見の件数（件）		30	35	40
活動					
成果	こどもからの意見に基づき実施・実現した取組等の件数（件）		2	4	5
成果					
事業費（千円）		1,054	562	1,177	1,200
うち一般財源（千円）		784	562	1,177	1,200
備考					

小学校教育IT環境整備事業

625

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
小学校 パソコン	<p>【事業概要】</p> <p>第2期国のGIGAスクール構想により、全児童に1人1台パソコンを整備する。また、全小学校へ電子黒板、プロジェクター、書画カメラ等の情報教育関連機器をリースにて導入する。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>第2期鴻巣市学校教育情報化推進計画を基に、国の動向を見据え、教育の情報化を推進する。 令和9年度システム更新予定。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
全児童1人1台整備されたパソコンを活用して、個別最適化された学びを実現し更なる教育の質の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	パソコン更新台数（台）	0	5,850	0	0
活動					
成果	児童へのパソコン配備割合（％）	100	100	100	100
成果	学習意欲のある児童の割合（％）	91	91	91	91
事業費（千円）		188,940	688,340	229,413	229,413
うち一般財源（千円）		186,940	266,659	229,413	229,413
備考					

中学校教育IT環境整備事業

632

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
中学校 パソコン	【事業概要】 国の第2期GIGAスクール構想により、全生徒に1人1台パソコンを整備する。また、全中学校へ電子黒板、プロジェクター、書画カメラ等の情報教育関連機器をリースにて導入する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 第2期鴻巣市学校教育情報化推進計画を基に、国の動向を見据え、教育の情報化を推進する。 令和9年度システム更新予定。
全生徒1人1台整備されたパソコンを活用して、個別最適化された学びを実現し更なる教育の質の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	パソコン更新台数(台)	0	3,061	0	0
活動					
成果	生徒へのパソコン配備割合(%)	100	100	100	100
成果	学習意欲のある生徒の割合(%)	77	77	77	77
事業費(千円)		80,036	340,006	121,413	121,413
うち一般財源(千円)		80,036	124,469	121,413	121,413
備考					

小・中学校適正規模及び適正配置事業

1599

施策体系	01-02-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
児童・生徒	【事業概要】 児童・生徒数の推移や地域の実情に応じて、教育的な視点から少子化に対応した活力ある学校づくりのため、小・中学校の適正規模及び適正配置に取り組む。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 8年度 大芦小学校と吹上小学校の統合に関する検討
「適正規模・適正配置に関する基本的な考え方」に沿った学校のあり方を研究し、地域や保護者の意見を踏まえた上で、教育格差が少なくなるよう、学校の適正規模化を進め、子どもたちにとってより良い教育環境を整備する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	審議会、懇話会、意見交換会等の実施回数(回)	10	10	10	10
活動					
成果	適正規模校の割合(%)	42	42	42	43
成果					
事業費(千円)		62	61	1,862	61
うち一般財源(千円)		62	61	1,862	61
備考					

放課後児童クラブ管理運営事業

1601

施策体系	01-03-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)こども応援課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
放課後児童クラブに入室している児童 放課後児童クラブ	【事業概要】 保護者等が就労等により、昼間家庭にいないことが常態である児童の健全な育成を図る。 ・管理方法：直営、指定管理、業務委託 ・開室時間：放課後から午後7時まで（直営、指定管理） ・令和8年度は、需要の増加が見込まれる松原小学校区、下忍小学校区に、令和9年度開設を目指し、放課後児童クラブの新設整備を進める。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 ・待機児童ゼロを継続するため、必要な施設整備を行う。 ・川里地域の義務教育学校の新設に伴い、児童クラブの新設に向けた取組を行う。
施設の整備を行うことにより、待機児童ゼロを継続するとともに、研修を通じた支援の質の向上により、放課後児童クラブの役割であるこどもの健全な育成を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	支援数（支援）	45	47	49	48
活動					
成果	待機児童数（人）	0	0	0	0
成果					
事業費（千円）		507,036	645,450	596,098	581,081
うち一般財源（千円）		132,311	147,727	161,300	156,293
備考					

こどもの居場所支援事業

1618

施策体系	01-03-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)こども応援課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
こども 市内こども食堂・学習支援団体等	【事業概要】 こどもの居場所づくりの推進、企業と支援団体とのマッチング、こどもたちが必要な支援に結びつけるネットワークを形成する。 ・こどもの居場所コーディネーターを配置する。 ・こどもの居場所ネットワーク会議を開催する。 ・こども食堂運営団体に提供される食材の一時保管、仕作業の拠点の「パントリーくすくす」の維持管理を行う。 ・こども食堂等応援金を交付する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 運営団体や実施日を拡充し、こどもの居場所の充実を図る
支援が必要なこどもたちを結びつける総合的な支援体制が形成されている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	こどもの居場所の運営団体数	13	14	15	16
活動					
成果	全小学校区におけるこどもの居場所の充足率	75.0	82.4	88.2	94.1
成果	こども食堂の延べ実施日数	150	150	160	170
事業費（千円）		6,380	6,362	6,909	7,500
うち一般財源（千円）		2,410	2,203	2,909	3,500
備考					

予防接種事業

431

施策体系	02-01-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)健康福祉部 (課)健康づくり課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
0～16歳の市民（13～16歳は女性のみが対象） 50歳以上の市民	【事業概要】市医師会及び県医師会等に委託し、個別接種を行う。また、接種率の向上のための周知を図る。 定期予防接種：A類疾病（ヒブ、小児用肺炎球菌、3種混合、5種混合、B型肝炎、BCG、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、2種混合、HPV、ロタウイルス、RSウイルス）、B類疾病（高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、新型コロナウイルス、帯状疱疹）行政措置予防接種：おたふくかぜ、不活化ポリオ、小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、帯状疱疹 【今後の方向性】感染症対策や予防接種の必要性を周知し、接種率の向上を図るとともに国において新たに定期接種化が検討されているワクチンについて動向を注視していく。 R8新規：RSウイルス、高用量インフルエンザ
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
感染症予防や重症化予防のための予防接種の必要性を市民が理解し、接種することにより接種率の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	未接種者への勧奨通知者数（人）	3,000	3,000	3,000	3,000
活動	広報掲載等による予防接種の周知啓発活動件数（回）	81	80	80	80
成果	0～16歳予防接種率（％）	98.5	98.5	98.5	98.5
成果	65歳以上インフルエンザ予防接種率（％）	53.5	53.5	53.5	53.5
事業費（千円）		521,450	463,947	463,947	463,947
うち一般財源（千円）		461,632	447,548	447,548	447,548
備考					

重層的支援体制整備事業

1645

施策体系	02-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)健康福祉部 (課)福祉課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民 支援関係機関	【事業概要】社会福祉法の改正に基づき、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う。 【今後の方向性】市民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、高齢・障害・子ども・生活困窮等の制度や分野の縦割りを超えて、関係各課や関係支援機関との連携を強化し、包括的支援体制の構築を進める。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
高齢・障害・子ども・生活困窮といった制度の既存事業を最大限に活用しても、十分に対応できない支援ニーズを把握し、課題解決に向けて支援を行う。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	新規相談受付件数（件）	441	60	60	60
活動					
成果	市役所や地域に、悩みごとや心配ごとを相談できる窓口があることを知っている市民の割合（％）	52.2	57	61.9	66.7
成果					
事業費（千円）		26,011	17,415	17,415	17,415
うち一般財源（千円）		6,503	4,357	4,357	4,357
備考					

要援護高齢者等支援事業

1541

施策体系	02-03-02	会計区分	一般会計	計画年度	平成29年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)健康福祉部 (課)介護保険課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内在住の要援護高齢者	<p>【在宅高齢者等配食サービス事業】委託業者が自宅へ食事を運びながら安否確認を行う。（自己負担1食500円）【重度要介護高齢者等日常生活用具給付等事業】該当者へ日常生活用具（火災報知器・自動消火器・電磁調理器等）を給付・貸与する。【外出支援サービス】委託業者が車いす等でも乗車可能な車両で対象者を病院等へ送迎する。【あんしんみまもり（緊急通報システム）】委託業者が実施する見守りサービスの月額利用料のうち、2千円を上限に助成する。【難聴高齢者補聴器購入費扶助】補聴器購入費を1回4万円を上限に助成する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
高齢者の福祉の増進を図る	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	当該各事業の支給額（円）	14,726	14,096	16,227	18,012
活動					
成果	当該各事業の延べ利用者数（人）	1,740	1,712	2,144	2,380
成果					
事業費（千円）		14,726	15,576	16,225	18,010
うち一般財源（千円）		14,726	15,576	16,225	18,010
備考					

災害支援体制整備事業

194

施策体系	03-01-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成19年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)危機管理監 (課)危機管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	【事業概要】 備蓄計画に基づき、防災倉庫における備蓄すべき品目、数量の適正化を図る。また、非常用トイレ等の避難所における備品の整備を進める。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 令和3年度に防災備蓄センターが完成し、5か年計画で物資の備蓄を行った。今後は、備蓄計画の見直しにより追加した品目の整備や、備蓄品の入替え等を計画的に進める。マンホールトイレ等の整備が済んでいない避難所についてはラップ式トイレの整備を進める。
大規模な災害が発生した直後の市民生活を確保するため、食料、生活必需品等の備蓄体制の整備を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	食料の備蓄量(累計)(食)	98,760	98,760	98,760	98,760
活動	ラップ式トイレ購入台数(累計)(台)	101	110	115	120
成果	鴻巣市地域防災計画に基づく備蓄計画の充足率(%)	100.0	100	100	100
成果	避難所における非常用トイレ整備率(%)	64	92	96	100
事業費(千円)		20,694	16,837	17,009	17,009
うち一般財源(千円)		20,406	16,549	16,721	16,721
備考					

防犯灯管理事業

179

施策体系	03-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)自治振興課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
防犯灯	【事業概要】 ○新設防犯灯 ・市民からの要望等に基づき、現地を確認の上、必要と認められた場合に設置する。 ○防犯灯の修繕 ・防犯灯の球切れなどの連絡を受け、修繕する。 ○防犯灯の維持管理 ・防犯灯電気料の支払い 【今後の方向性】 ○防犯灯のLED化 ・老朽化した水銀及びナトリウム防犯灯をLEDタイプへ交換（予算の範囲内）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
防犯灯が適切に設置、維持管理されている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	修繕連絡件数(件)	200	200	200	200
活動	新設要望件数(件)	60	60	60	60
成果	修繕件数(件)	200	200	200	200
成果	新設件数(件)	60	60	60	60
事業費(千円)		69,964	69,955	69,955	69,955
うち一般財源(千円)		69,964	69,955	69,955	69,955
備考					

エコな住環境づくり事業

1603

施策体系	03-03-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)環境課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、事業者	<p>【事業概要】 市民や事業者に対して、環境の保全及び創造に関する意識の向上を目的とした啓発を行うとともに、補助制度を活用した再生可能エネルギーの導入等、個々のライフスタイルに応じた脱炭素行動の実践について普及促進を図る。</p> <p>【今後の方向性】 2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、「ゼロカーボンアクション30」や「デコ活」の普及啓発を行う。また、蓄電システムの設置や省エネ性能の高い電気冷蔵庫の買換えなど、市民や事業者に対する補助制度を拡充し、地球温暖化対策の推進につなげる。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民がデコ活の趣旨を理解し、環境負荷の少ない住環境づくりに取り組む。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	啓発事業の回数 (回)	15	15	15	15
活動	地球温暖化防止を目的とした補助金の交付件数 (件)	453	660	660	660
成果	脱炭素社会を意識して生活している市民の平均項目実践数 (項目)	4.45	4.45	4.45	4.45
成果					
事業費 (千円)		2,009	3,008	3,008	3,008
うち一般財源 (千円)		9	8	8	8
備考	【省エネ家電製品買換え促進事業補助金】令和8年度～冷蔵庫に加えて、エアコン及びLED照明器具への買換えに対する補助を追加。				

公共交通維持事業

183

施策体系	04-04-01	会計区分	一般会計	計画年度	平成30年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)自治振興課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
【事業概要】 コミュニティバス「フラワー号」 8コース 運賃 ・一般：200円 ・小中高生・大学生・65歳以上・免許返納者：100円 ・未就学児・障がい者・80歳以上・妊娠中・2歳到達月の末日までの子の保護者・難病患者・要介護要支援認定者：無料 (免許返納者：1年間無料) ・車両購入：令和7年度EVバス1台		
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	通勤・通学などで多くの市民が利用し、利便性が確保される。また、運転免許証返納者や移動困難者に対する移動手段を提供し、市内のアクセス性を高める。	【今後の方向性】 令和7～8年度：地域公共交通計画策定 令和 8年度：ディーゼルバス1台購入

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	コミュニティバスの乗車人数(人)	488,000	497,000	509,000	509,000
活動					
成果	コミュニティバス利用者1人当たりの補助金額(円)	252.0	257.0	260.0	265.0
成果					
事業費(千円)		171,591	155,772	199,429	200,629
うち一般財源(千円)		169,314	153,495	197,152	198,352
備考					

デマンド交通運行事業

1653

施策体系	04-04-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)自治振興課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
【事業概要】 ひなちゃんタクシー 月8回、土日祝日運休 <対象>70歳以上の高齢者、障がい者、難病患者 要介護要支援認定者、未就学児、妊婦、 2歳到達月の末日までの子の保護者 このす乗合タクシー <対象>鴻巣市に住民登録がある方 予約、同乗可		
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	市民の日常生活の移動手段が確保され、利便性の向上を図るとともに、持続可能な運行を目指していく。	【今後の方向性】 持続可能な運行とするため、ひなちゃんタクシーから、予約ができ低運賃で利用できる乗合タクシーへの移行を進める。

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	ひなちゃんタクシー登録者数(累計)(人)	18,680	19,240	19,810	20,400
活動	このす乗合タクシー登録者数(累計)(人)	19,950	22,140	24,570	27,270
成果	ひなちゃんタクシー利用件数(件)	37,000	37,036	35,400	34,600
成果	このす乗合タクシー利用者数(人)	41,500	39,346	44,500	46,000
事業費(千円)		114,290	113,738	113,913	114,435
うち一般財源(千円)		112,690	112,438	113,413	113,935
備考					

コウノトリ飼育施設管理運営事業

1623

施策体系	04-05-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	（部）環境経済部（課）環境課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	コウノトリを飼育し、その生態を展示することにより自然環境の保全及び再生に対する市民の理解を深め、コウノトリの野生復帰を可能にするための環境づくり及び自然と共存する持続可能なまちづくりを推進する。	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月完成の「コウノトリ野生復帰センター」施設管理業務 ・コウノトリの飼育業務 ・ヒナが生まれた場合、放鳥関連業務 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育するコウノトリの繁殖、放鳥を目指す。

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	施設見学会等イベント回数（回）	20	25	30	35
活動	施設来館者数（累計ではなく年度ごと）（人）	15,000	15,000	15,000	15,000
成果	生物多様性が保たれていると思う市民の割合（％）	82.4	83.2	84.0	84.8
成果					
事業費（千円）		28,851	28,993	28,993	28,993
うち一般財源（千円）		2,428	2,669	2,669	2,669
備考					

商工会補助事業

1503

施策体系	05-01-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)商工観光課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
事業者	<p>【事業概要】 商工会が実施する事業者への経営支援や各種事業に対して、補助金を交付する。</p> <p>【今後の方向性】 商工会が行う各種事業の精査を行いながら補助金を交付していく。</p> <p><補助金の内訳> 鴻巣市商工会 (小規模企業指導費、商工会運営費、商工業振興費、花火大会、中小企業相互交流、創業支援事業費、専門家派遣事業、経営革新計画策定事業費等)</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
商工会の活動が活発となる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	経営指導員 相談・支援件数 (件)	2,000	2,000	2,000	2,000
活動					
成果	商工会組織率 (%)	58.62	58.62	58.62	58.62
成果					
事業費 (千円)		40,858	42,094	42,094	42,094
うち一般財源 (千円)		40,858	42,094	42,094	42,094
備考					

公共施設等マネジメント事業

1434

施策体系	06-04-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成26年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)財務部 (課)資産管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民、市有公共施設（施設管理者）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	人口減少社会等に対応した公共施設等の適正な管理・整備・改修・再編が行われることにより、安全・安心・満足度の高く、持続可能な公共施設の管理運営を行う。	<p>【事業概要】 「鴻巣市公共施設等総合管理計画」に基づいた公共施設全体のあり方及び公共マネジメントの仕組みの検討、最適な公有財産の保有・利活用・処分といった、ファシリティマネジメントを推進する。</p> <p>【今後の方向性】 [全体]計画の改定及び進行管理、施設最適化、PPP推進、不用財産・備品の処分等 [個別]エネルギー管理手法(BEMS等)の検討 公共施設等マネジメント民間提案制度の実施 新規売却予定:水資源開発公団私下住宅跡地 フリマサイトを活用した不用備品の売却</p>

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	公共施設等マネジメント推進本部開催数(回)	5	6	6	6
活動	民間提案制度による提案数		5	8	10
成果	市民1人あたりの公共施設等維持管理費(円)	4,191	4,191	4,191	4,191
成果	公有財産売払額(千円)	9,378	96,132	7,410	7,410
事業費(千円)		5,992	717	1,577	717
うち一般財源(千円)		5,992	667	1,527	667
備考					

包括施設管理業務事業

1625

施策体系	06-04-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)財務部 (課)資産管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市有公共施設（施設管理者）及び利用者	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	状態の一元把握、優先順位化の支援、管理の質の向上、予防保全体制の確立、膨大な事務コストの低減等の効果により、安全・安心かつ持続可能な公共施設の管理運営が行われている。	<p>【事業概要】 施設毎・業務毎に発注していた設備点検や保守管理・小規模修繕等の業務について、高度な専門的知識と優れたノウハウを有する民間事業者と連携し、業務をまとめて委託することで「業務水準の統一」「業務品質の向上」「施設の安全性向上」「事務の効率化」などを図り、今後の持続可能な公共施設の管理運営につなげる。</p> <p>令和8年度は庁舎、学校、公民館等、全139施設で実施。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度～令和8年度：包括施設管理業務の実施 令和8年度：第2期の公募型プロポーザル実施 令和9年度～令和13年度：第2期包括施設管理業務の実施</p>

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	包括管理施設の年間保守管理計画の執行率(%)	100	100	100	100
活動					
成果	対象施設 設備の不具合により 施設利用を停止した件数(件)	0	0	0	0
成果	事務コスト削減額(千円)	64,868	64,868	66,595	66,595
事業費(千円)		511,034	518,616	650,030	658,693
うち一般財源(千円)		511,034	518,616	650,030	658,693
備考					

情報系システム事業

施策体系	06-04-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)総務部 (課)CT推進課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市職員が利用する情報系システム及び情報系貸与パソコン	【事業概要】 ファイルサーバの維持管理及び運用の管理を実施 グループウェアの機器管理及び運用の管理を実施 情報系貸与パソコンの維持管理及び運用の管理を実施 【今後の方向性】 業務効率化のため、パソコンをデスクトップ型からモバイル型へ順次変更していく。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
職員が障害なく庁内LAN上で運用している各システムに接続できる環境を提供する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	システム機器やネットワーク適正利用にかかる啓発アナウンスの回数(件)	10	10	10	10
活動					
成果	維持管理、不具合のためにサーバーの運用を勤務時間中に停止した時間(分)	150	150	150	150
成果					
事業費(千円)		108,699	110,699	104,264	104,264
うち一般財源(千円)		108,697	110,697	104,262	104,262
備考					

コンビニ交付事業

施策体系	06-04-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)市民課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
マイナンバーカードを所有している市民	【事業概要】 平成29年10月1日からマイナンバーカードを利用した全国のコンビニエンスストア等での住民票、戸籍、税証明の交付サービスを行う事業 証明書の種類 ・住民票の写し・住民票記載事項証明書 ・戸籍謄抄本・戸籍の附票の写し ・印鑑登録証明書・住民税課税・非課税証明書 【今後の方向性】 広報、ホームページ等でコンビニエンスストア等でも証明交付が可能であることを周知していく。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
全国のコンビニエンスストア等で午前6時30分から午後11時まで市役所窓口以外でも証明書の取得が可能になり、市民の利便性が向上する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	コンビニでの証明発行件数(件)	40,000	43,908	46,101	48,301
活動					
成果	コンビニでの証明発行割合(%)	36.36	39.91	41.91	43.91
成果					
事業費(千円)		23,205	13,693	13,355	13,613
うち一般財源(千円)		8,030	8,502	13,355	13,613
備考					

DX推進事業

1620

施策体系	06-04-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)総務部(課)ICT推進課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民、職員	【事業概要】 業務効率化及び市民の利便性向上のため、AIの利用促進、行政手続のオンライン化を推進していく。
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	【今後の方向性】 AIを利用した業務効率化 行政手続のオンライン化推進による市民サービス向上 DXの推進 鴻巣市DX推進計画に基づき、全庁的にDXを推進する。
鴻巣市デジタル・トランスフォーメーション推進計画に基づき、着実なDX推進を図る。特に、市役所業務にデジタル技術を活用し、手続の簡素化、迅速化、効率化を図り、市民サービスの向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	電子化した手続数(件)	35	908	940	970
活動	オンライン化した手続数(件)	290	290	300	310
成果	行政手続のうち電子化した手続の割合(%)	24.4	47	48	50
成果	IT(情報技術)を利用した行政サービスの市民満足度(%)	80.5	81.5	82	83
事業費(千円)		3,364	1,283	1,283	1,283
うち一般財源(千円)		3,364	1,283	1,283	1,283
備考					

SDGs推進事業

1727

施策体系	06-04-99	会計区分	一般会計	計画年度	令和06年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市長政策室(課)総合政策課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民、事業者等	【事業概要】持続可能なまちづくりのため、市民・事業者等へのSDGsの普及啓発を推進し、以下の取組みを通してSDGsの達成に向けた行動への変容を促していく。 ・SDGs啓発コーナーの設置、このとりSDGsフェスティバル、このとりSDGsパートナー制度の拡充、SDGsポイント制度の拡大、地方創生SDGsフェス2026への出展
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	【今後の方向性】・パートナー交流会やフェスを通じたパートナー間の連携強化、地方創生SDGsフェス2026への出展やSDGs啓発コーナーの設置による市やパートナーのSDGsの取組みの発信、SDGsポイント制度の拡大によるSDGsの取組みの実践の定着及び利用期間の延長に向けた調整
市民や事業者等がSDGsの趣旨を理解し、SDGsの各ゴールの達成に向けた行動ができるようになっている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	SDGsポイント制度への参加者数(人)	3,500	4,000	4,500	5,000
活動	SDGsパートナー宣言数(団体)	120	150	160	170
成果	SDGsに関心のある市民の割合(%)	55	58	60	62
成果	イベントへの参加事業者数(件)	70	75	80	85
事業費(千円)		6,563	9,691	5,893	5,893
うち一般財源(千円)		5,563	9,691	5,893	5,893
備考					

吹上地域保育園等新設整備事業

1678

施策体系	01-01-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和05年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)保育課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
未就学児童とその保護者	<p>【事業概要】 鎌塚字東裏地内に（仮称）吹上コスモス保育園を含む子育て支援複合施設を整備する。なお、老朽化が進む鎌塚保育所、吹上富士見保育所及び児童発達支援センター「つつみ学園」については、複合施設への機能集約を図り、同施設の開設に合わせて廃止する。</p> <p>【今後の方向性】 令和6～7年度 基本設計・実施設計 令和8～9年度 工事・開設準備 令和10年3月 鎌塚・吹上富士見・つつみ学園廃止 令和10年4月 開設</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
（仮称）吹上コスモス保育園を含む複合施設を、吹上地域における子育て支援拠点施設として、保育需要の確保のほか、子育て支援センターを新設するとともに、療育の機能も集約し、つつみ学園を統合して新設・整備する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	累計事業費	51,661	796,965	2,506,619	2,512,234
活動					
成果	事業進捗率	20	50	100	100
成果					
事業費(千円)		32,830	748,041	1,709,654	5,615
うち一般財源(千円)		3,495	139,889	411,665	5,615
備考					

小学校施設改修事業

627

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
小学校施設、児童	<p>【事業概要】 施設の老朽度、築年数等から計画的に設計・工事を実施。</p> <p>【今後の方向性】 令和8年度：屋上防水改修設計(赤一小)、空調設計(5校) 令和9年度：屋上防水改修工事(赤一小)、空調工事(5校)、空調設計(5校) 令和10年度：空調工事(5校)、空調設計(6校) 令和11年度：空調工事(6校) その他、優先順位を定めて改修等を実施。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校の施設や設備の不具合や危険箇所が解消され、児童が安全かつ快適に利用している。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	トイレ洋式化改修個数(基)	0	0	0	0
活動	屋上防水改修棟数(棟)	2	0	1	1
成果	トイレ洋式化率(累計)(%)	68.5	68.5	68.5	68.5
成果	屋上防水改修率(累計)(%)	45.5	45.5	50	50
事業費(千円)		391,341	46,361	827,909	600,538
うち一般財源(千円)		3,441	2,961	0	0
備考					

中学校施設改修事業

635

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部) 教育部 (課) 教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
中学校施設、生徒	<p>【事業概要】 施設の老朽度、築年数等から計画的に設計・工事を実施。 【今後の方向性】 令和8年度：鴻巣西中施設移設等工事、空調設備設計（4校） 令和9年度：鴻巣西中施設移設等工事、空調設備工事（4校）、空調設備設計（4校） 令和10年度：鴻巣西中施設移設等工事、空調設備工事（4校） その他、優先順位を定めて改修等を実施。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
中学校の施設や設備の不具合や危険箇所が解消され、生徒が安全かつ快適に利用している。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	トイレ洋式化改修個数(基)	0	0	0	0
活動	屋上防水改修棟数(棟)	0	0	0	0
成果	トイレ洋式化率(累計)(%)	61.6	61.6	61.6	61.6
成果	屋上防水改修率(累計)(%)	47.4	47.4	47.4	47.4
事業費(千円)		15,328	28,242	668,292	921,815
うち一般財源(千円)		15,328	42	0	193,638
備考					

(仮称)川里義務教育学校整備事業

1746

施策体系	01-02-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和07年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部) 教育部 (課) 教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
児童・生徒	<p>【事業概要】 令和5年度に策定した、基本構想・基本計画を基に、教育先進都市を目指す本市の新たな拠点として、新しい時代の学びを実現する義務教育学校の新設に向けて取り組む。 【今後の方向性】 令和8年度～：用地買収 令和9年度～：設計、地質調査等 令和12年度～：新設工事</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校・中学校を一体的に整備し、義務教育学校を新設することで、様々な課題へ対応するとともに、9年間一貫性のある学校運営による教育効果の向上を図り、新しい時代の学びを提供する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	事業費累計(円)	10,698	139,308	208,697	228,523
活動					
成果	事業進捗率(%)	5	12	15	22
成果					
事業費(千円)		10,698	14,070	69,389	19,826
うち一般財源(千円)		10,698	14,070	69,389	19,826
備考					

消防ポンプ自動車更新事業

191

施策体系	03-01-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)危機管理監 (課)危機管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
消防ポンプ自動車	<p>【事業概要】 消防団車両更新計画（消防施設整備計画）により車両更新を行う。運用年数19年経過後、20年目で車両を更新する。更新台数は各年度1台とする</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 令和8年度1台 第2分団 令和9年度1台 第1分団 令和10年度1台 第4分団</p>
消防ポンプ自動車適正に更新され、支障なく消防活動が行われている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	消防ポンプ自動車の更新車両台数(台数)	0	1	1	1
活動					
成果	消防ポンプ自動車の基準台数に占める現有台数の割合(%)	100	100	100	100
成果					
事業費(千円)			22,961	25,051	25,051
うち一般財源(千円)			61	51	51
備考					

交通安全施設整備事業

173

施策体系	03-02-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】 危険箇所の調査、交通安全施設の設置 ・市民等の要望に基づき、現地確認の上、必要箇所にカーブミラー、区画線を設置する。 ・パトロールを実施し、危険箇所を調査し、カーブミラー、区画線を設置する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 カーブミラーの点検結果に基づいた修繕や計画的な路面標示の更新を行っていく。</p>
交通安全施設が整備され、市道利用者の安全が確保される。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	調査 確認回数(回)	600	1,320	1,450	1,450
活動	カーブミラー 道路鉞の設置数(新規・修繕)区画線の設置箇所(新規・修繕)の年間箇所数(箇所)	55	55	55	55
成果	カーブミラー設置対応率(対応件数/要望件数)(%)	100	100	100	100
成果	カーブミラー修繕対応率(対応件数/要望件数)(%)	100	100	100	100
事業費(千円)		24,970	23,736	25,671	25,671
うち一般財源(千円)		24,970	23,736	25,671	25,671
備考					

新たなごみ処理施設周辺整備事業

1518

施策体系	03-03-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成30年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	（部）環境経済部（課）環境課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
新たなごみ処理施設周辺整備箇所	<p>【事業概要】 埼玉中部環境保全組合からの依頼に基づき、新たなごみ処理施設に伴う施設周辺道路の整備を行う。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 令和8年度 18,776千円 測量業務委託、設計業務委託 令和12年度 8,000千円 詳細設計業務委託 令和13年度 110,000千円 道路築造工事</p>
新たなごみ処理施設が安全に建設され、周辺環境に影響を及ぼすことなく施設が稼働する予定です。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	完了した業務委託数及び工事件数（件）	0	2	2	2
活動					
成果	新たなごみ処理施設の周辺整備計画の計画箇所の進捗率（%）	0	0	0	0
成果					
事業費（千円）		0	18,776	0	0
うち一般財源（千円）		0	0	0	0
備考					

北新宿第二土地区画整理事業特別会計繰出金

588

施策体系	04-01-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成07年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)市街地整備課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
北新宿第二土地区画整理事業区域 同区域内の土地権利者	【事業概要】 市施行で実施する区画整理事業の促進と事業の安定のため、一般会計から北新宿第二土地区画整理特別会計へ繰出金として拠出を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 令和4年度に第10回事業計画変更を行い、令和16年3月31日まで事業期間の延伸、資金計画及び全体事業費の見直しを行った。今後も事業完了に向け、物件移転補償及び区画道路の整備を実施する。
土地区画整理事業により整備改善を図り、良好な居住環境を有する宅地の基盤整備と既存宅地の整備改善がなされる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	当初予定の繰出執行率 (のべ執行額/全体拠出予定額)(%)	77.5	80.75	85.74	92.5
活動					
成果	北新宿第二土地区画整理事業整備率 (事業費ベース)(%)	83.0	88.0	91.9	94.6
成果	北新宿第二土地区画整理事業施行区域内人口 (人)	2,313	2,429	2,550	2,678
事業費 (千円)		365,000	317,000	350,000	350,000
うち一般財源 (千円)		365,000	317,000	350,000	350,000
備考					

荒川左岸通線整備事業

544

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
都市計画道路荒川左岸通線及び利用者	【事業概要】 荒川左岸通線を北本市方面（市道B-363号線から主要地方道さいたま・鴻巣線まで）に延伸する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 令和6年度から4箇年かけて物件調査を予定しており、令和9年度以降に順次用地買収に着手する。（幅員18.0m、延長約30m）
鴻巣駅西側の骨格道路が整備され、交通の利便性向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	0	80	400	400
活動	事業費 (千円)	16,993	37,883	20,000	20,000
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		16,993	37,883	20,000	20,000
うち一般財源 (千円)		4,893	4,733	1,000	1,000
備考					

駅南通線整備事業

1575

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和05年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（駅南通線）及び利用者	<p>【事業概要】 上尾道路から荒川左岸通線までの約366mの区間を、両側歩道付き幅員16mの道路整備を行う。</p> <p>【今後の方向性】 令和8年度 物件調査 令和9年度～ 用地買収・物件移転補償</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>国土交通省所管の上尾道路事業化に伴い、交差点接続に合わせ、荒川左岸通線までの区間を整備することにより、上尾道路と周辺市道とのアクセスを改善し、交通の利便性を図る。</p>	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	0	0	450	450
活動					
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		31,000	25,776	50,000	50,000
うち一般財源 (千円)		7,500	2,076	2,500	2,500
備考					

三谷橋大間線 (3期工事) 整備事業

1576

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（三谷橋大間線（3期））及び利用者	<p>【事業概要】 上尾道路から荒川左岸通線までの約429mの区間を、両側歩道付き幅員16mの道路整備を行う。</p> <p>【今後の方向性】 令和8年度 用地買収・物件移転補償 令和9年度～ 用地買収・物件移転補償・工事</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>国土交通省所管の上尾道路事業化に伴い、交差点接続に合わせ、荒川左岸通線までの区間を整備することにより、上尾道路と周辺市道とのアクセスを改善し、交通の利便性を図る。</p>	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	2,273	1,500	930	930
活動	事業費 (千円)	296,666	219,445	250,000	250,000
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		296,666	219,445	250,000	250,000
うち一般財源 (千円)		42,066	24,745	12,500	12,500
備考					

幹線道路等整備事業

1613

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
主に市民が利用する市道のうち、舗装の個別施設計画の対象となる幹線道路等及び利用者	【事業概要】 舗装の個別施設計画に基づき、対象路線のアスファルト舗装を改修する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 市民からの振動等の苦情や改修要望箇所を考慮しながら、原則として舗装の個別施設計画に基づき、改修工事を実施していく。また、令和8年度の事業費は公共施設等適正管理推進事業債等の事業債を活用し、対応する。
多くの市民が利用する幹線道路等を適正に維持、保全し、安心して利用できる道路環境を整備し、利便性の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	幹線道路等改修工事延長(累計)(km)	43.6	44.3	46.8	49.3
活動					
成果	整備進捗率(%)	77.3	78.5	83.0	87.4
成果					
事業費(千円)		114,100	66,200	150,000	150,000
うち一般財源(千円)		31,700	34,200	15,000	15,000
備考					

上尾道路接続市道整備事業

1640

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（9路線）及び利用者	【事業概要・今後の方向性】 上尾道路に接続する市道9路線の道路整備を行う。 令和7年度 用地測量(A-2045) 令和8年度 物件調査(A-2045) 路線測量(B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481・C-307)
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	令和9年度 用地買収・物件補償(A-2045) 予備設計(B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481・C-307)
上尾道路整備に伴い接続する市道9路線の拡幅整備等を行うことで、道路ネットワークの強化とともに交通環境整備を図る。	令和10年度 用地買収・物件補償・工事(A-2045) 用地測量(B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481・C-307)

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	新たに取得する事業用地(m ²)	0	0	100	100
活動	事業費(千円)	28,038	31,530	27,000	66,000
成果	道路整備率(%)	0	0	0	0
成果					
事業費(千円)		28,038	31,530	27,000	66,000
うち一般財源(千円)		6,688	2,435	10,850	3,300
備考					

鴻巣駅東口エレベーター整備事業

1750

施策体系	04-04-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和07年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部) 都市建設部 (課) 都市計画課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、駅利用者	<p>【事業概要】 高齢者、障がい者及び子育て世代の方々も含め、鴻巣駅の利用者がより利用しやすい環境を目指し、鴻巣駅東口に接続するエレベーターを整備するために、以下の事業を実施する。</p> <p>【今後の整備予定スケジュール】 令和7年度～8年度 実施設計業務 令和8年度～9年度 エレベーター整備工事 令和9年度 供用開始</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
高齢者、障がい者及び子育て世代の方々も含め、鴻巣駅の利用者がより利用しやすい環境を目指し、駅東口に接続するエレベーターを整備する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	事業費	26,114	13,926	225,237	0
活動					
成果	駅の利便性（バス、タクシー、送迎者への乗降等）に関する満足度（％）	72.2	71.0	71.5	71.5
成果					
事業費（千円）		26,114	13,926	225,237	0
うち一般財源（千円）		7,114	2,526	64,237	0
備考					

道の駅整備事業

1383

施策体系	05-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)道の駅整備プロジェクト					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
「道の駅」の整備	<p>【事業概要】 本市の地方創生の拠点となる施設として、道路利用者の休憩機能、道路情報や周辺の観光・イベント情報等の情報発信機能、農業を始めとする地域産業の活性化に寄与する地域連携機能を併せ持つ「道の駅」を整備する。</p> <p>【今後の方向性】 令和8年度 建築・外構工事、アクセス道路工事 令和9年度 建築・外構工事、アクセス道路工事 令和10年度 付帯工事、道の駅開業</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
「道の駅」の整備により、道路利用者の利便に供し、本市の農産物・加工品・工芸品及びその他物品の紹介、販売、地域情報の発信並びに交流の促進等により、にぎわいの創出と地域産業の振興を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	事業費 (千円)	283,858	1,283,222	3,956,658	72,520
活動	用地取得率 (%)	100	100.0	100.0	100.0
成果	施設数 (施設)	0	0	0	1
成果					
	事業費 (千円)	283,858	1,283,222	3,956,658	72,520
	うち一般財源 (千円)	6,826	8,029	167,999	51,100
備考					

保健衛生普及事業

831

施策体系	02-01-06	会計区分	特別会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)国保年金課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	国民健康保険被保険者	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	【事業概要】 疾病の早期発見や疾病の重症化予防を行うことにより、鴻巣市国民健康保険被保険者が健康な生活を送るための事業を展開する。
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	被保険者の健康の保持及び増進を図るため、脳ドック等の検査をつける被保険者が増加する。	【今後の方向性】 人間ドック、脳ドック受診料の一部費用助成、生活習慣病重症化予防事業費用の一部負担等を引き続き実施。 がん検診費用の一部負担については、第3期埼玉県国民健康保険運営方針において一般会計からの繰り入れは認められないとの方針からR8からは実施しない。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	脳ドック助成件数(件)	190	180	190	190
活動	人間ドック助成件数(件)	1,200	1,150	1,150	1,150
成果	脳ドック助成額(千円)	5,320	5,040	5,320	5,320
成果	人間ドック助成額(千円)	32,400	31,050	31,050	31,050
事業費(千円)		100,772	44,140	44,140	44,140
うち一般財源(千円)		54,121	19,692	19,692	19,692
備考					

特定健康診査等事業

1055

施策体系	02-01-06	会計区分	特別会計	計画年度	平成20年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)国保年金課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	当該年度に40歳～74歳に到達される鴻巣市国民健康保険被保険者	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	【事業概要】 内臓脂肪型肥満に着目した糖尿病等の生活習慣病予防のため特定健康診査を実施する。健診結果を階層化し、対象者に特定保健指導(動機付け支援・積極的援助)を実施する。
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	特定健康診査を受診する人が増える。特定保健指導を受けることにより、生活習慣を見直し健康な生活を営む人が増える。	【今後の方向性】 被保険者数は減少傾向であるが、受診勧奨を強化し、特定健康診査受診者数を増やす。電話での受診勧奨では従来の人による電話勧奨に加え自動架電システムを使った勧奨を行う。特定保健指導は、民間事業者による実施方法に加え、健診医療機関、国保年金課管理栄養士の実施方法を併用し、利用者数を増やす。 R7～活動指標を修正：人間ドック分を含むこととする	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	特定健康診査受診者数(人)	8,843	6,650	9,008	9,071
活動	特定保健指導利用者数(人)	302	373	422	482
成果	特定健康診査実施率(%)	40.0	38.0	55.6	57.8
成果	特定保健指導実施率(初回支援終了)(%)	34.5	53.4	47.3	53.7
事業費(千円)		116,718	116,339	116,339	116,339
うち一般財源(千円)		75,833	64,978	64,978	64,978
備考					

高齢者あんしんみまもりサービス事業

1654

施策体系	02-03-04	会計区分	特別会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)健康福祉部 (課)介護保険課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市内在住の在宅で生活している65歳以上の独居高齢者、又は65歳以上の高齢者のみ世帯に属する在宅の方で日常生活に不安のある方	<p>【事業概要】</p> <p>委託業者が実施するみまもりサービスの月額利用料の助成（上限2,000円）</p> <p>(1)高齢者の住居に通信機能を有する電球等の機器を設置することにより行う見守り</p> <p>(2)高齢者の自宅へ訪問、電話等を行うことにより行う見守り</p> <p>(3)高齢者が無線発信機及び緊急通報電話機を利用し、事業者に通報することにより行う消防及び事業者による速やかな救助活動(緊急通報)</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>高齢者が安心して生活できるようサービスの周知を図る。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
日常生活において見守り対応等を確保し高齢者の安心安全及び福祉の増進を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	利用実人数	801	501	1,233	1,449
活動					
成果	65歳以上の市民であんしんみまもりサービスを利用している割合	2.2	1.4	3.3	3.9
成果					
事業費(千円)		13,240	11,817	13,350	15,618
うち一般財源(千円)		3,008	5,741	6,001	7,021
備考					

配水管等布設事業

914

施策体系	03-05-01	会計区分	企業会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
給水区域内水道使用者	【事業概要】 ・配水設備の拡張事業として、配水管新設にかかる設計、工事を実施。 ・配水設備の改良事業として、配水管布設替にかかる設計、工事を実施。 【今後の方向性】 管路更新計画路線、区画整理事業、道路舗装改修路線、下水道工事に伴う路線、漏水多発路線などを優先的に実施し管路の更新・耐震化を進めていく。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
配水設備等の拡張及び改良事業等により、水道水が安定供給されている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	管路総延長 (m)	591,900	593,900	595,900	597,900
活動	耐震管延長 (m)	55,600	56,400	57,200	58,000
成果	管路の耐震管率 (%)	9.5	9.6	9.7	9.8
成果	基幹管路の耐震適合率 (%)	83.9	84	84.1	84.2
事業費 (千円)		855,016	525,995	525,995	525,995
うち一般財源 (千円)		425,562	201,172	201,172	201,172
備考					

テレメータ更新工事

1759

施策体系	03-05-01	会計区分	企業会計	計画年度	令和08年度～令和10年度	事業区分	新規
担当部課	(部)上下水道部 (課)水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
給水区域内水道使用者	【事業概要】 原水及び浄水設備の改良事業として、工事を実施。 【今後の方向性】 令和8年度：機器製作 令和9年度：機器製作 令和10年度：各テレメータの更新
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
原水及び浄水設備の改良事業により、水道水が安定供給されている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	回線数 (回線)		22	22	22
活動	VPNサービスの回線数 (回線)		6	6	18
成果	VPNサービスの回線率 (%)		27.3	27.3	81.8
成果					
事業費 (千円)			261,145	195,858	195,858
うち一般財源 (千円)			261,145	195,858	195,858
備考					

污水管渠整備事業

933

施策体系	03-06-01	会計区分	企業会計	計画年度	昭和48年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
公共下水道認可区域の一般家庭、事業所・工場	<p>【事業概要】 公共下水道認可区域（主に市街化区域）における一般家庭、事業所・工場等の雑排水を污水管に流し、流域下水道を経て、終末処理場できれいな水に処理し河川へ流すため、污水管の整備及び公共污水ますの設置を行う。</p> <p><計画全体概要> 事業認可面積 約1,574.02ha(令和8年3月31日予定) 供用開始面積 約1,527.13ha(令和8年3月31日予定)</p> <p>【今後の方向性】 令和8年度 北新宿地内(2.89ha)、滝馬室地区(0.23ha) 令和9年度 北新宿地内(1.28ha)、大間地内(0.74ha) 令和10年度 北新宿地内(0.48ha)、大間地内(2.41ha)</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
污水管渠（污水管、污水ます）が整備されている	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	整備面積 (ha)	1,576	1,578	1,534	1,585
活動					
成果	整備率 (%)	98.9	99.1	99.2	99.5
成果					
事業費 (千円)		278,920	138,800	99,651	108,600
うち一般財源 (千円)		113,425	2,200	69	10
備考					

ウォーターPPP導入事業

1758

施策体系	03-06-99	会計区分	企業会計	計画年度	令和08年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
下水道事業	<p>【事業概要】 持続可能な下水道運営を図るため、ウォーターPPP・管理・更新一体マネジメント方式[レベル3.5]の官民連携の導入を目指し、管理を委託する施設や内容の検討を進め、導入に向けた資料を作成します。</p> <p>【今後の方向性】 令和8年度：実施方針策定・募集資料作成 令和9年度：事業者募集・選定 令和10年度：契約交渉・引継 令和11年度：事業開始</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
ウォーターPPP等、多様な官民連携方式から本市の実情に適した手法及び事業者の参画形態を検討し、導入する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	実施した事業数		2	4	6
活動					
成果	事業進捗率(累計)		33.3	66.7	100
成果					
事業費 (千円)			46,860	20,000	3,500
うち一般財源 (千円)			21,310	20,000	3,500
備考					

大間2号調整池整備事業

1757

施策体系	04-03-02	会計区分	企業会計	計画年度	令和07年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
西部第3排水区	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部第3排水区における浸水被害軽減のため、大間2号調整池の整備を行う。 <p>計画全体概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水管理総合計画に基づき、重点対策地区である西部第3排水区の浸水対策を目的として、調整池の整備を行う。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度 用地測量及び物件調査 令和9年度 土地評価、土地鑑定評価及び用地買収等 令和10年度 詳細設計
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
調整池を整備することにより、浸水被害が減少する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	07年度当初	08年度当初	09年度計画	10年度計画
活動	実施した事業数 (累計)	2	3	5	6
活動					
成果	事業進捗率 (累計)	25.0	37.5	62.5	75.0
成果					
事業費 (千円)		25,355	6,728	89,000	30,000
うち一般財源 (千円)		18,255	28	3,600	0
備考					



第6次鴻巣市総合振興計画〈平成29年度～令和8年度〉

令和8年度 実施計画

〈計画期間 令和8年度～令和10年度〉

令和8年3月

発行／鴻巣市市長政策室総合政策課

〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1番1号

電話：048-541-1321(代表)

電話：048-541-9013(直通)

FAX：048-543-5480



市 HP にも掲載しています